

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	エンジン整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	72. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車のエンジン関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	ガソリン・エンジンにおいて、4サイクル・エンジン及び2サイクル・エンジンの基本と、燃料装置の基本であるキャブレータの構造を理解する。		
テキスト	① 実習テキスト		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	4サイクル・エンジン	50ccの4サイクル・エンジン単品教材にて基本構造及び分解手順、構成部品の名称、組み上げ手順を習得する 完成後は回転確認を行う	①118～125
第2回			
第3回			
第4回			
第5回	2サイクル・エンジン	50ccの2サイクル・エンジン単品教材にて基本構造及び分解手順、構成部品の名称、組み上げ手順を習得するまた、4サイクルエンジンとの違いも確認する 完成後は回転確認を行う	①126～127
第6回			
第7回	燃料装置 概要	フューエル・タンクからエンジンまでの燃料通路（フューエルポンプ、フューエルコック、ストレーナ）の構造を確認する	①137
第8回	キャブレータ	VM式キャブレータの燃料供給方法、作動原理、通路やジェット類の構造、名称、役割等について確認する	①138～139
第9回	キャブレータ	CV式キャブレータの燃料供給方法、作動原理、通路やジェット類の構造、名称、役割等について確認する	①139～140
第10回			

	ステップ試験（中間試験）	第1回～第10回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回～第10回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	ガソリン・エンジンにおいて、4サイクル・エンジン及び2サイクル・エンジンの基本構造、及び燃料装置の基本であるキャブレタの構造を理解し、各構成部品の名称や働きを覚えることを目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="padding-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		